

令和 7 年度水稻・麦類・大豆奨励品種の特性表

令和 7 年 4 月
山口県農林総合技術センター

水稻

種 類	早 中 晩	品 種 名	来 歴 育成場所 育成年	採用 年度	試 験 地	移 植 期 月日	出 穂 期 月日	成 熟 期 月日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/㎡	芒 の 多 少・長 短	草 型	穂 発 芽 の 難 易	脱 粒 性	玄 米						食 味	抵 抗 性						適 地	栽培上の留意事項等	概 評		
																腹 白 の 多 少	心 白 の 多 少	リ ッ トル 重 g	千 粒 重 g	収 量 kg/a	品 質		葉 い も ち	穂 い も ち	白 葉 枯 病	紋 枯 病	ご ま 葉 枯 病	カラ バ エ			倒 伏	優 点	欠 点
稈	早 生	ひとめぼれ	母 コシヒカリ 父 初星 古川農試 平成3年	平 10	本場 分場	5.16 6.10 5.10	7.25 8.09 7.28	8.30 9.16 9. 6	85 90 81	19.5 20.3 19.3	405 377 478	やや 少・短	偏 穂 数	難	難	微	微	853 856 868	23.1 22.9 22.8	52.6 52.1 65.5	上 の 中	上 の 上	弱	弱	やや 弱	中	中	—	やや 弱	山間～中間 中庸田	耐倒伏性はやや劣るため、多肥栽培は避ける。 いもち病に弱いため、適期防除に努める。	良質 良食味	いもち病、 白葉枯病弱 倒伏やや弱
		コシヒカリ	母 農林22号 父 農林1号 福井農試 昭和31年	昭 54	本場 分場	5.16 6.10 5.10	7.24 8.08 7.30	8.27 9.15 9. 8	90 94 89	18.4 19.0 18.6	384 360 445	少・短	中 間	難	難	微	微	850 857 865	21.5 21.8 22.0	50.2 47.3 62.0	上 の 中	上 の 上	弱	弱	中	強	中	中	弱	山間～中間 中庸田 早植地帯	倒伏しやすいため、施肥・水管理に注意する。特に、多肥栽培は避ける。 いもち病に弱いため、予防、適期防除に努める。	食味極良 穂発芽難	いもち病弱 耐倒伏性劣 長稈
		晴 る る	母 ヤマハウシ 父 コシヒカリ 山口農試徳佐分場 平成9年	平 9	本場 分場	5.16 6.10 5.10	7.28 8.10 8. 2	9. 1 9.18 9.12	83 90 81	18.7 19.4 18.8	401 384 460	無	中 間	やや 難	難	微	微	852 851 868	23.5 23.3 23.8	56.5 54.2 67.9	上 の 中	上 の 上	やや 弱	やや 弱	中	やや 弱	中	中	やや 強	山間～中間 中～肥沃田	いもち病、紋枯病の適期防除に努める。 2次枝梗の熟れが遅れやすいため、多肥栽培を避け、刈遅れに注意する。	倒伏やや強 収量安定 良質 良食味	いもち病、 紋枯病やや弱
		日 本 晴	母 東海7号(ヤマビコ) 父 幸風 愛知農試 昭和38年	昭 44	本場 分場	6.10 5.10	8.17 8.11	9.27 9.25	84 83	20.3 20.1	366 432	少・短	偏 穂 数	難	難	少	微	846 850	22.8 23.0	59.0 66.0	上 の 中	上 の 中	中	中	強	中	弱	中	やや 強	中間～平坦 肥沃田	葉色がやや淡いため、生育初期の過肥に注意する。 ごま葉枯病にやや弱いため、砂質浅耕土の秋落田、ごま葉枯病常発田は避ける。	強稈 安定多収 白葉枯病強	ごま葉枯病 やや弱 秋落ち易
		きぬむすめ	母 キヌヒカリ 父 愛知92号(祭り晴) 九州沖縄農研センター 平成17年	平 21	本場 分場	6.10 5.10	8.19 8.13	9.28 9.24	88 77	17.9 18.0	349 365	希・短	中 間	中	難	微	微	850 849	22.3 22.1	60.1 64.0	上 の 中	上 の 上	やや 弱	中	やや 弱	中	—	—	やや 強	中間～平坦 中～肥沃田	初期の分けつ発生を促すため、深植、深水管理を避ける。 籾数過多となると品質が低下するため、極端な多肥栽培を避ける。 いもち病の適期防除に努める。	良質 良食味	いもち病、白 葉枯病やや弱
	中 生	中生新千本	母 農林22号 父 隼 愛知農試 昭和25年	昭 42	本場	6.10	8.22	10. 4	87	19.3	430	中・中	穂 数	中	中	中	微	847	23.6	57.8	上 の 下	上 の 下	中	中	弱	弱	弱	強	強	中間～平坦 中～肥沃田	分けつが旺盛なため、基肥減肥、適切な水管理に注意し、過繁茂による倒伏を避ける。 青枯れが発生しやすいため、過肥にしない。	収量安定	白葉枯病弱 腹白多い 青枯発生し やすい
		ヒノヒカリ	母 黄金晴 父 コシヒカリ 宮崎農試 平成元年	平 8	本場	6.10	8.23	10. 3	91	18.7	367	希・短	偏 穂 重	難	難	微	微	854	22.6	58.0	上 の 中	上 の 上	中	中	弱	中	中	—	やや 強	瀬戸内沿岸 の平坦 中～肥沃田	やや長稈のため、多肥栽培は避ける。 外観品質が低下しやすいため、早期落水をしない。 刈遅れるとうす茶米、胴割米が発生しやすい。	良食味 登熟良好	登熟期間の高温により白未熟粒が発生しやすい
		恋の予感	母 西海232号(きぬむすめ) 父 中国178号 近畿中国四国農研センター 平成26年	平 29	本場	6.10	8.28	10. 9	81	19.3	341	希・短	偏 穂 重	やや 難	難	微	微	848	23.0	62.1	上 の 中	上 の 上	中	やや 強	やや 弱	中	中	—	やや 強	瀬戸内沿岸 の平坦 中～肥沃田	移植時期が遅れると、減収や登熟遅延の懸念があるので、極端な晩植は避ける。 葉いもちに強くないため、適切な防除に努める。	やや多収 良質 高温耐性やや 良食味	登熟期間が低温の場合、登熟が遅延しやすい
	糯 生	ミヤタマモチ	母 南海76号 父 みのたまもち 宮崎農試 平成2年	平 7	本場	6.10	8.22	10. 2	86	20.0	304	少・中	穂 重	難	難	—	—	839	29.9	61.1	上 の 中	上 の 上	やや 強	やや 強	やや 強	中	—	—	強	中間～平坦 中～肥沃田	ふ先色が「黄白」のため、稈種との混種に注意する。 1穂籾数の確保と登熟向上のため、太植えや過肥は避ける。	良質多収 強稈	刈遅れると 糠色が濃く なる

(注) 1 奨励品種決定調査による
2 試験地は本場が農林総合技術センター（令和4年まで山口市大内、令和5年以降は防府市台道）、分場が旧徳佐寒冷地分場（山口市阿東徳佐）
3 表中の値は本場が令和2年～6年の5ヵ年平均、分場が平成10～18年の9ヵ年平均（「きぬむすめ」は平成16～18年の3ヵ年平均）

麦類

種類	品 種 名	来歴 育 成 場 所 育 成 年	採用 年度	播 種 期 月 日	出 穂 期 月 日	成 熟 期 月 日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	芒 の 長 短	株 の 開 閉	脱 粒 性	播 性 程 度	千 粒 重 g	容 積 重 g/L	収 量 kg/a	品 質	子 実 タ ン バ ク %	抵 抗 性					栽培上の留意事項等	概 評	
																			うどんこ病	赤かび病	縞萎縮病	倒伏	穂発芽		優 点	欠 点
小麦	ふくさやか	母 シラサキコムギ 父 シロガネコムギ 近中四農研センター 平成14年	平18	11.16	4.1	5.29	88	8.1	504	中	やや開	中	Ⅱ	35.0	781	47.9	中の上	9.2	やや弱	やや弱	中	強	中	短稈で倒伏に強い ため、穂肥を中心に通常より施肥量を増やすことで増収をねらう。 穂発芽性は「中」のため、適期収穫に努める。 赤かび病には強くないため、防除を徹底する。	早生、良質、多収 倒伏に強い 製めんの色と粘弾性 優れる	穂発芽耐性が不十分 うどんこ病にやや弱い
	にしのやわら	母 A*8/Wxチカノイソミ 父 SGP1全欠失系統/A*10 A:シロガネコムギ 九州沖縄農研センター 平成30年	令5	11.16	4.1	5.30	87	8.2	550	やや長	開	やや易	Ⅱ	37.0	794	55.0	中の上	9.1	中	中	やや強	強	やや易	穂発芽性は「やや易」のため、適期収穫に努める。 子実タンパクが低い場合は開花期追肥を施用する。	早生、多収 デンプン老化耐性を持つ	穂発芽しやすい 子実タンパクがやや低い
	せときらら	母 A*9/B//A*9/B 父 A*9/B//A*9/C A:ふくほのかB:AC DomainC:北見春63号 近中四農研センター 平成25年	平25	11.16	3.31	5.31	95	8.3	488	中	やや開	中	I	41.7	806	63.9	中の上	10.8	弱	強	中	やや強	強	過繁茂になると倒伏する可能性があるため、極端な早播きは避ける。 子実タンパクが低くなる傾向があるため、開花期追肥の実施等により子実タンパク向上に努める	良質、多収 製パン性を高める遺伝子を持つ	子実タンパクがやや低い
裸麦	トヨノカゼ	母 四系9123 父 四国裸90号 近中四農研センター 平成17年	平22	11.16	3.28	5.17	91	5.0	439	やや長	やや開	難	V	32.3	828	51.9	上の下	—	中	やや弱	やや強	やや強	やや難	湿害に強くないため、排水対策を徹底する。 赤かび病には強くないため、防除を徹底する。 過繁茂になると、倒伏が多くなる。	強稈、多収	赤かび病にやや弱い
二条大麦	サチホゴールドン	母 大系R4224 父 関東二条29号 栃木農試 平成21年	平26	11.16	3.21	5.14	95	6.4	630	やや長	やや開	やや難	I	48.9	686	51.5	中の中	—	極強	やや強	極強	やや強	中	出穂が早く、凍霜害が発生する危険があるため、極端な早播きは避ける。 排水対策、赤かび病の防除を徹底する。	良質、縞萎縮病に強い 醸造適性が優れる	側面裂皮の発生がやや多い

(注) 1 奨励品種決定調査による。ただし、数値以外の特性は育成地のデータによる。
2 試験値は山口県農林総合技術センター（令和5年産まで山口市大内、令和6年産から防府市台道）。
3 表中の値は令和2年～6年産の5カ年平均。ただし、「にしのやわら」は令和元年～4年産および令和6年産の5カ年平均。「せときらら」には開花期追肥（窒素成分で0.6kg/a）を施用。

大豆

秋 夏 大豆 別	早 中 晩	品 種 名	来歴 育 成 場 所 育 成 年	採用 年度	播 種 期 月 日	開 花 期 月 日	成 熟 期 月 日	生 態 型	主 茎 長 cm	分 枝 数 本/株	主 茎 節 数 節	胚 軸 色	花 色	子 実				百 粒 重 g	紫 斑 病 抵 抗 性	蔓 化 の 難 易	倒 伏 の 難 易	収 量 kg/a	品 質	子 実 タ ン バ ク %	用 途	栽培上の留意事項等	概 評	
														種皮色	臍色	粒形	大小										優 点	欠 点
秋大豆	中の晩	サチユタカA1号	サチユタカ×ハヤヒカリにサチユタカを5回連続戻し交雑 作物研究所 平成24年	令3	6.16	8.1	11.1	Ⅲc	50	5.2	14.2	紫	紫	黄白	黄	球	大の小	34.0	強	難	難	35.3	中の上	44.0	豆腐 （味噌醤油）	成熟期以降も莢がはじけにくい特性（難裂莢性）を持つが、収穫が遅れると品質低下を招くため、適期収穫に努める。	難裂莢性を持ち、自然脱粒や収穫ロスが少ない。大粒。	褐色輪紋病に弱い。

(注) 1 奨励品種決定調査による。
2 試験地は農林総合技術センター（令和4年まで山口市大内、令和5年から防府市台道）。
3 表中の値は平成30年～令和元年、令和4年～6年の5カ年平均。